

1 調査目的

この調査は、市政に関する市民の考え方を把握し、今後の市政運営の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査項目

この調査の調査項目は以下の7項目である。

(1) 属性について

性別、年齢、職業、家族構成、住宅状況、居住年数

(2) 観光まちづくりの取組について

観光客や宿泊客の増減、東大阪市に来てほしい観光客、「ひがしおおさか体感まち博」の認知度、「ひがしおおさか体感まち博」で「案内人」になることへの関心、外国人観光客との交流意向

(3) タクシーの利用について

タクシーの利用頻度、タクシーを利用しない理由、タクシー利用料金の上限、タクシーで相乗りできる相手、タクシーを自宅に呼ぶために実現してほしいこと、相乗り可能なタクシー乗り場の利用意向、タクシー利用に求めるもの

(4) 東大阪市の広報活動について

市政に関する情報の入手先、「東大阪市政だより」を読む習慣、広報番組「虹色ねっとわーく」の視聴状況、東大阪市のウェブサイトのアクセス経験、東大阪市のウェブサイトでの情報の見つけ方

(5) 食育について

「食育」への関心、栄養成分表示を参考にする頻度、食品選びの知識の有無、食物の栽培体験の有無、食べ残しをしないように気をつけているか

(6) 多文化共生について

「多文化共生」の認知、外国人住民との付き合い、外国人住民との交流意向、外国人住民と日本人住民が共に暮らしやすい地域にするために地域の人ができること、外国人住民と日本人住民が共に暮らしやすいまちにするために行政に求める取組

(7) 空き家について

「空家等対策の推進に関する特別措置法」の認知、「空き家」との関わり、民間団体と連携した相談会で相談してみたいこと、個人の所有物に税金が投入されることについての考え、東大阪市に求める空き家に関する支援制度

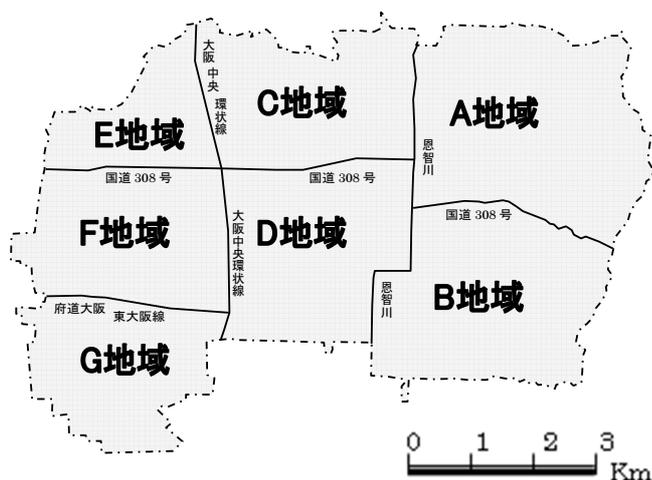
3 調査設計

- | | |
|----------|---------------------------|
| (1) 調査地域 | 東大阪市内 |
| (2) 調査対象 | 市内全域在住の満18歳以上の市民 |
| (3) 標本数 | 2,700人 |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳による等間隔抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送調査法（督促状1回発送） |
| (6) 調査期間 | 令和2年7月27日（月）～令和2年8月11日（火） |

4 回収結果

- (1) 配布数 2,700 票 (100.0%)
- (2) 回収数 1,483 票 (54.9%)
- (3) 有効回収数 1,483 票 (54.9%)

5 地域別回収結果



	配布数	有効回収数	有効回収率
A地域	287	179	62.4%
B地域	343	188	54.8%
C地域	382	189	49.5%
D地域	519	288	55.5%
E地域	195	102	52.3%
F地域	565	303	53.6%
G地域	409	234	57.2%
合計	2,700	1,483	54.9%

6 報告書の見方

- (1) 集計結果は、小数点第2位を四捨五入しており、表記値と計算値との演算誤差が生じることがあるため、回答比率の合計が100.0%とならないことがある。
- (2) 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- (3) 比率(%)は、その回収数を母数として算出している。
- (4) 各質問の回収数は(N=)として示している。
- (5) 数値に関する記述は下記の基準にしたがっている。

例：約3割 30.0～30.9

3割強 31.0～34.4

3割半 34.5～36.0

4割弱 36.1～39.9

- (6) 「その他」の具体内容は、複数回答している場合があるため、件数の合計が回答者数を超える場合がある。